



★地域 センターからの

お・し・ら・せ ★



★こんにちは「五反野駅前通り銀座会」です



さて、今回から商店街の昔話にお付き合いいただきたいと思います。
五反野駅界隈は大正13年に荒川放水路が完成後、街道が遮断されました。それ以降は放水路の完成とほぼ同時期に千住新橋が出来上がったので、現花畑街道（バス通り）の方が商店街とは言わないまでも数軒の商店、竹製品のお店、種屋、呉服屋、薪屋さんなどがありました。

ところが昭和40年代前半に駅前通りに沿ってあった用水路も含め、この地区にあった俗称「どぶ川」が整備されると、下水路として蓋がされた駅前通りが発展していき、昭和45年に地域住民に密着した商店街の組織が発足されました。

現在、五反野駅界隈に住んでいる方でも当時の様子を知らない方が多くなっています。皆さまと一緒に商店街の歴史を辿りながら、商店街をより身近に感じていただけたら幸いです。次回もぜひお付き合いください・・・。



【中央本町センターは、五反野駅前通り銀座会さんと様々な連携を行い、地域貢献・地域活性化に

取り組んでまいります】

商店会って
なにしているの？



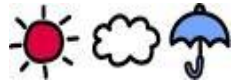
【五反野駅前通り 銀座会】
<http://www.ginzakai.com/>
Mail : w.1010@basil.ocn.ne.jp

★菜園ボランティア活動報告 Vol. 3

8月26日に始まったセンター菜園での野菜栽培。小松菜・かぶ・まる大根などの葉の成長はとても著しかったのですが、防虫対策がおそろそかになり、アブラムシにやられてしまい、葉っぱが全滅。と思いきや・・・にんじんだけが、とっても元気に育って来ていました！



<栽培☆観察日記③>



11月上旬



ひとこと

●全滅ショックの中、ほんの少し光明が。にんじんの葉だけが、どんどん大きくなっていきました。虫食いもされずに、がんばってます...

11月中旬



●順調に成長していましたが、葉っぱがぼうぼうに。急いで間引きしました！
菜園ボランティアさんによると、「ニンジンの葉はとておいしーよ！もしかして身よりもね。」

6

11月中旬



ひとこと

●すると、菜園ボランティアさんが、葉っぱを天ぷらに調理して、センターまで持ってきてくださいました。お風呂はんに食べさせていただきました。自分たちで育てているから、格別ですね。ご馳走様でした！

12月上旬



●身も徐々に見え始め、順調そのもの。でも少し、間引きが甘かったです。くっつきすぎ。そして、いよいよ収穫の日を迎え、種から成長したニンジンたちを土から取り上げました。小ぶりではありますが、それは確かにオレンジ色をしたニンジンたちであり、とっても感慨深いものがありました！愛着いっぱいです...

12月12日(水)
いよいよ
収穫の日！



★アウトリーチ型活動報告 「ウクレレ同好会」さん



25年の今年初めてのアウトリーチ型活動は、1月9日(水)に「ウクレレ同好会」さんと「デイサービスたくみ」さんを訪問しました。今回もまた、サークルさん手作りの歓迎の掲示をしていただき、誠にありがとうございます。

14時にスタートした最初の曲は、ウクレレ生演奏をバックに、誰もが知っている、♪「手のひらを太陽に」をサークルさんと施設の利用者さんと一緒に合奏合唱をおこないました。そして4曲目の♪「タイニーバブルス」からは、女性3名が華麗なハワイドレスをまとい、本格的なハワイワンショーが始まりました。♪「四季の歌」、♪「アロハウクレレ」、♪「瀬戸の花嫁」、♪「カイマナヒラ」までの間、5回の華やかな衣装チェンジによるパフォーマンスは、会場中を魅了してやみませんでした。

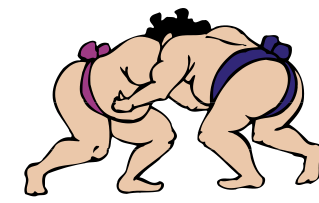
興奮さめやらず、今度は利用者さんと職員さん参加による、フラダンス体験コーナーへ突入！みなさんの踊る姿は恥ずかしそうでしたが、最後は笑顔いっぱい、とっても楽しそうでした。アンコールでは、「瀬戸の花嫁」がリクエストされました。なぜかという、実はデイサービスたくみさんのテーマ曲があり、瀬戸の花嫁の節に合わせて歌われていたのです。ですから、会場一同ウクレレ演奏と大合唱とフラダンスショーで大盛り上がりでした。あっという間の最後の曲は、♪「憧れのハワイ航路」の熱唱で終了しました。新年早々、素敵な楽しいショータイムを見させていただきました。



★アウトリーチ型活動報告 「東京足立相撲甚句会中央」さん

1月29日(火)に「東京足立相撲甚句会中央」さんと「デイサービスたくみ」さんを訪問しました。14時、深紅の法被をまとった7名の唄い手さんが、心地よい拍子木の調べにのってさっそうと登場しました。女性唄い手さんによる「前唄」でスタートし、続いて東京スカイツリーも登場する「新東京名所」を男性唄いさんがご披露。そして、相撲甚句会の講師林太一さんによる、江戸末期から伝わる「相撲甚句」のわかりやすい解説の後、合いの手「あードスコイ、ドスコイ」の全体練習が始まりました！

3曲目は本唄「東京名所」のご披露。♪あ〜 相撲負けても 下駄さえ履けば 勝った カッタと音がする ササ カランコロン カランコロン・・・滑稽な歌詞にみなさん大爆笑でした。相撲甚句は、究極のアカペラです。伴奏なしですから、唄い手さんの語りがストレートに伝わってきます。合いの手「ドスコイ」の練習の成果もすぐに現れ、みなさん息の合った「あードスコイ、ドスコイ」をいただきました。女性3名による迫力の甚句唄が続き、最後の曲は、松尾芭蕉・花畑の大鷲神社・あだちの花火・そして足立区にある相撲部屋、玉ノ井部屋・境川部屋など、足立の名所がふんだんに登場する「足立名所甚句」の披露で終了。7名の入魂の相撲甚句唄は、みなさんに熱く伝わったと思います！



7